

Tsuyama College		Year	2020	Course Title	社会科学入門
Course Information					
Course Code	0045	Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture	Credits	Academic Credit: 2		
Department	Department of Mechanical Engineering	Student Grade	5th		
Term	Second Semester	Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	「憲法への招待 新版」 渋谷秀樹 岩波書店, 六法全書				
Instructor	OTA Hajime				
Course Objectives					
学習目的：国家の役割を理解していく中で、日本社会の有り様を把握していくとともに、それらの国家が創り出す国際関係についても論究していく。					
到達目標： 1. 日本国憲法の特長を理解できる。 2. 日本国憲法の人権保障について理解できる。 3. 日本国憲法の統治機構について理解できる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	日本国憲法の特長を、歴史的、比較法的に理解できる。	日本国憲法の特長を大まかに理解できる。	日本国憲法の特長の基礎を理解できていない。		
評価項目2	日本国憲法の人権保障について、歴史的、比較法的に理解できる。	日本国憲法の人権保障を大まかに理解できる。	日本国憲法の人権保障の基礎を理解できていない。		
評価項目3	日本国憲法の統治機構について、歴史的、比較法的に理解できる。	日本国憲法の統治機構を大まかに理解できる。	日本国憲法の統治機構の基礎を理解できていない。		
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	<p>一般・専門の別・学習の分野：一般・人文・社会</p> <p>必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択</p> <p>基礎となる学問分野：法学/政治学</p> <p>学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「(5)国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F)コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成、F-2：発表や討論をとおして、相手の考え方や知識の相互理解ができること」である。</p> <p>授業の概要：国際化の時代において、国家の役割は相対的に低下しつつあるとはいえ、それに代わる権力組織は存在しない。その働きを、憲法という視点から探っていく。</p>				
Style	<p>授業の方法：テキスト・資料などを適量に分けて報告者に割り振っていく。報告者の報告をもとに、質疑応答を展開する。</p> <p>成績評価方法： 100% = 前期末試験80% + 予習用レポート10% + 課題レポート10% 再試は実施しない。</p>				
Notice	<p>履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが、これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。</p> <p>履修のアドバイス：「黙っていても、技術で喰っていける」時代は過ぎ去った。最低限の表現能力は、身につけよう。</p> <p>基礎科目：政治経済(2年)、現代社会と法(4年)</p> <p>関連科目：人間と歴史(5年)</p> <p>受講上のアドバイス： 「沈黙は金」ではなく「沈黙は成績不可への道」と思って、積極的に発言しよう。そのために、次週報告範囲の事前レポートをしっかりと作成してこよう。そのために、教科書を事前にしっかりと読もう。そうした「予習」をやりやすくするために、比較的わかりやすい論理の本を教科書に選んだ。こうして、君の文章読解力も鍛えられるという高専最終学年にふさわしいオールラウンド型の講義となる。遅刻が多くなった場合は、その時点で、指示を出します。</p>				
Course Plan					
			Theme	Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	ガイダンス	講義の流れ	
		2nd	日本の統治構造	3権の関係	
		3rd	日本における違憲立法審査権	違憲立法審査権の内容と限界	
		4th	判例研究① 表現の自由	判決の理解	
		5th	同上	同上	
		6th	判例研究② 平等	同上	
		7th	同上	同上	
		8th	判例研究③ 平和主義	同上	

4th Quarter	9th	同上	同上
	10th	安全保障と平和主義	安全保障と平和主義との関係
	11th	同上	同上
	12th	技術の軍民共用問題	軍民共用の問題点
	13th	サイバーセキュリティ	サイバーセキュリティの内容と課題
	14th	同上	同上
	15th	後期末試験	
	16th	後期末試験の返却と解答解説	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20